

【瀬谷区】平成 30 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 30 年 9 月 5 日 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
場 所	瀬谷区役所 5 階 大会議室
出席者	<p>【座 長】加納重雄議員</p> <p>【議 員： 2 名】花上喜代志議員、川口広議員</p> <p>【瀬谷区：40 名】森秀毅区長、石原孝副区長、 五十嵐吉光福祉保健センター長、 守屋龍一福祉保健センター担当部長、 井上義晃土木事務所長、ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 29 年度 個性ある区づくり推進費 決算状況</p> <p>2 平成 29 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業の決算</p> <p>3 平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業の執行状況</p>
発言の旨	<p>川口議員：「ヨコハマネイチャーウィーク」を旭区共催で行っており、瀬谷区でも可能性を考えてほしいと前回話しましたが、それ以降進展があれば教えてほしい。</p> <p>森区長：前回会議の後、相鉄さんと瀬谷の良さをアピールしていきたいということで、実施場所、実施時期等の話をしました。相鉄さんも東京等への PR を積極的に行いたいということで、前向きに検討していただけるということになっています。</p> <p>川口議員：区役所に、コミュニティバスを増やしてほしいという相談はあるのか。</p> <p>藤澤区政推進課長：コミュニティバスを増やしてほしいという直接的な相談はありませんが、新たな中期計画で地域交通の充実があげられていますので、その中で検討していくのがよいと考えています。</p> <p>川口議員：上瀬谷の農家で、タヌキやアライグマ等の害獣被害にあっているという話を聞くが、区に相談窓口を設置する等の対策を考えているか。</p> <p>森区長：区役所に具体的な相談はありませんが、地区支援チームが地域に密接に入っていますので、そういう情報があれば、環境創造局と相談し、何らかの対応ができると思います。</p>

加納議員：地域交通サポートということで、東野、東野台、南瀬谷の奥に住んでいる方から相談を受けるが、区の地区支援の担当者は、そういう話を聞いていないか。

伊澤地域振興課長：東野、東野台を担当していますが、会合等でそういう話はでていません。以前、担当していた南瀬谷の奥の方からは、バスがあればいいという話をいただいたことがあります。

藤澤区政推進課長：広聴担当には、東野、東野台、細谷戸との循環バスがあれば便利という手紙をいただき、相鉄バス、神奈中バスに要望の趣旨を伝えてあります。

加納議員：害獣被害について、上瀬谷の地区担当の方は聞いていないか。

山本税務課担当課長：害獣被害については、初めて聞きました。地区には毎月行きますので、実態を聞きたいと思います。

川口議員：瀬谷区のホームページの中では、「シングルパパママ応援情報サイト」が一番見やすいが、このページだけが見やすく作成できた理由を教えてほしい。

柴山子ども家庭支援課長：作成を委託する際に、こちらの意向を具体的にかつ詳細に伝えられたからだと思っています。引き続き内容の充実に努めていきます。

川口議員：クックパッドでのレシピ集は、瀬谷区の農畜産物のアピールになると思うが、今年度は掲載していないのか。

野田福祉保健課長：今年度は、ヘルスメイトさんに作っていただいたレシピ集をホームページに掲載しています。クックパッドについても検討していきたいと思っています。

川口議員：「瀬谷の魅力オープンガーデン事業」で、知らない方が自分の家に来ることにより、ご協力いただいている方に迷惑となっていないか。

藤澤区政推進課長：年に数回、ご協力いただいている方々と意見交換をしています。その中で、庭を見に来た方が、庭まで入っても良いという方、外から見てほしいという方をしっかり分けさせていただき、当日も看板を出し、ご迷惑をかけないようにしています。来年度もパンフレット等で周知方法を工夫していきたいと思っています。

川口議員：「読書との出会い応援事業」の参加者の年齢層を教えてください。

大嶋読書活動推進担当課長：60歳前後の方が多い状況です。参加者同士がグループを作ってください、継続的な活動をお願いしています。

川口議員：そのグループの地域での活動は、どのようなイメージなのか。
大嶋読書活動推進担当課長：高齢者の読み語りについては3グループできており、いくつかの介護施設に伺い非常に喜ばれています。また、朗読は簡単ではありませんが、朗読や紙芝居も同様にグループ化できればと思っています。

川口議員：スマートイルミネーションを実施する可能性はあるのか。

藤澤区政推進課長：瀬谷の魅力アップという意味で、灯りを使った省エネイベントの検討を進めているところです。

川口議員：「瀬谷の逸品」は増えているのか。

伊澤地域振興課長：平成25年度に選定してから、閉店した店舗もあるため、店舗数は減少している状況ですが、来年、区制50周年を迎えるにあたり、新たに選定を検討していきたいと思っています。

川口議員：選定にあたっては、公平性が担保されないといけないと思うが、選定する基準はあるのか。

伊澤地域振興課長：市民の方から推薦された店舗を、モニターさんに回っていただき、モニターさんに推薦されたものを逸品に認定しています。

花上議員：平成29年度の区づくり推進費の決算額が約89,623千円ということだが、この金額では地域住民の皆さんの期待に応えるには十分とは思っていない。事業執行の観点からどう考えているか。

森区長：予算的にはけして十分なものとは思っていません。事業の所管課でもいろいろと知恵を出し合い頑張っています。新たな中期計画での、区の機能強化、現場主義という観点から市民局もいろいろと考えていると聞いています。また、予算と同時に職員数の不足という問題がありますので、これについてもことあるごとに局に伝えています。

花上議員：瀬谷区の人口が減少しているが、直近の人口を教えてください。

藤澤区政推進課長：平成30年8月1日現在で、122,930人です。

花上議員：人口減少時代に入った瀬谷区政をどう進めていくか、基本的な考えを伺いたい。

森区長：少子高齢化の典型として後継者不足ということがありますので、後継者をきちっと育てるという方策が大事になってくると思っています。そのためには、地域コミュニティの継続が重要と考えていますので、区と地域が連携し、地域の活性化に寄与するような取り組みを考えていきたいと思っています。また東京等への交通アクセスが改善されれば、瀬谷に住

みたいと思う方も増えると思いますから、そういう面でも、瀬谷区の魅力づくりということが大きなテーマになると思っています。

花上議員：人口減少の中で、外国人にゆだねる仕事も目立ってきているが、瀬谷区内の外国人の実態を教えてほしい。

柴山こども家庭支援課長：いま把握している資料では、平成30年3月末時点で、中国の方が483人、ベトナムの方が337人、フィリピンの方が205人、韓国、朝鮮の方が200人、その他の方を含めると1,713人となっています。

花上議員：外国人の方が増えてきて、生活するとなると、瀬谷区でも外国人の方が生活しやすい条件を整えていかなければならないと思うが、何か検討していることはあるのか。

森区長：今回、防災対応として数か国語のパンフレットを作成しましたが、まだまだやっていかなければいけないことが沢山あると思います。外国から介護人材を横浜市に招くということも聞いておりますので、そういう動きにも対応できるようにしていきたいと思っています。

花上議員：自治会加入率が80%を下回ったという状況だが、この自治会加入率を上向きにするような対策は講じているのか。

伊澤地域振興課長：従来から、瀬谷区に転入された方に自治会加入のご案内を差し上げたり、自治会に新規加入された方に防犯グッズを配付する仕組みを作る等、いろいろな取組をしていますが、引き続き努力していきたいと思っています。

花上議員：瀬谷区の魅力づくりが、来年の50周年に向けて大きなテーマになると思います。旧上瀬谷通信施設の土地利用問題もある中で、50周年事業はどういう状況なのか。

村上総務課長：現在、50周年の実行委員会から一定の補助をするということで、区民の皆様から自発的なご提案を募っているところです。区民の皆様の手作りの企画を含め、多くの区民の方が参加できるような仕組みを実行委員会で作っていききたいと思っています。

花上議員：瀬谷の魅力といえば海軍道路の桜並木や和泉川のプロムナード等、瀬谷八景といえるような、瀬谷の魅力を発見していかなければいけないと思うが、何か考えはあるか。

森区長：瀬谷区の自然ということでは、フォトコンテストをこの数年実施していましたが、その集大成として、来年のカレンダーを現在制作してい

ます。全戸配布する予定ですので、四季を意識しながら瀬谷の魅力を知っていただくよい機会になると思います。また瀬谷には歴史がありますので、史跡を巡るガイドブックを来年にかけて作成し、多くの方に知っていただく取り組みもしています。瀬谷駅、三ツ境駅とともに、和泉川沿いにもアジサイの名所を作ろうと思っていますので、そういったことで、瀬谷区の良さをアピールしていきたいと思っています。

花上議員：海軍道路にバスを通すという話は相模鉄道から出ていないか。

藤澤区政推進課長：月に一回程度、相鉄ホールディングスと意見交換をしていますが、バス路線の話は出ていません。

花上議員：営業上の問題もあるのかもしれませんが、早くバス路線を具体化してほしいと思っている。いろいろな方が希望しているので、本庁に伝えてほしい。

森区長：将来的には、軌道系の新たな交通が望ましいと思いますが、当面はバス交通が重要だと思いますので、伝えさせていただきます。

花上議員：瀬谷区内でのコミュニティバスのニーズも高くなっている。旭区や大和市のコミュニティバスの状況も調べていただき、早く通せるように検討をしてほしい。

藤澤区政推進課長：道路局が独立採算ということを経験していませんので、瀬谷区内でコミュニティバスを運行する事業所が見つからないのも事実です。新たな中期計画に合わせて検討をしていきたいと考えています。

花上議員：国際園芸博覧会に先立って、瀬谷区を花のあふれる町にする取り組みが必要ではないかと思うが、どうか。

森区長：昨年の全国都市緑化横浜フェアに合わせて、旧上瀬谷通信施設の土地を使用したワイルドフラワーや瀬谷駅北口の大花壇等いろいろな取組をさせていただきました。オープンガーデンも昨年からはじめましたし、50周年を契機にさらに精力的に進め、国際園芸博覧会につなげていきたいと思っています。

加納議員：地域防災拠点に行けない人が、日ごろから使用している自治会館、町内会館を立地的な拠点として活用できないかという質問を以前させていただいた。それについて、瀬谷区のいまの現状と考え方について教えてほしい。

村上総務課長：瀬谷区では、積極的に二次的な避難所ということでは位置付けをしていないとは思いますが、他区の状況も聞き、勉強させていただ

きたいと思います。

加納議員：この話は前任者とも前向きに検討するという話も含めて、話をしてくれているので、どういう経緯があったのか確認して検討してください。

加納議員：読み聞かせで、保育園との連携は現状どうなっているのか。

大嶋読書活動推進担当課長：保育園との連携は、一昨年実施したことがありましたが、保育園の本来業務が忙しく、積極的な方向にはなっていません。

加納議員：読み聞かせと保育園の連携について、保育園側の意見を教えてほしい。

山梨こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：保育園の保育士が読み聞かせをやっています。イベント等を活用するのもひとつの方法かと思いますが、民間保育園の園長先生から意見を伺いながら検討していきたいと考えています。

加納議員：市営バスの停留所と横断歩道の距離が近いために死亡事故がおきたが、瀬谷区内のバス停と横断歩道について調査するのか。

六渡瀬谷土木事務所副所長：道路局等から調査依頼はありませんが、瀬谷土木事務所として、どういうところが危険なのか確認をしていきたいと思っています。

加納議員：区内の公共施設や災害訓練等で、ヘルプマークはどのような扱いなのか。区役所の中にヘルプマークについて発信しているものがあるのか。現状と考え方について聞きたい。

渡辺高齢・障害支援課長：ヘルプマークにつきましては、瀬谷区役所内にポスターを掲示し、高齢・障害支援課の窓口で希望される方にお渡ししています。まだ地域防災拠点訓練というところまではいたっていませんが、ヘルプマークの意味を広報区版等で周知していきたいと考えています。

加納議員：発達障害と言われているものも、特徴なのか、特性なのかという問題がある。その中で、心理発達相談数が増えているが、個別相談にあたっているのはどういう方か教えてほしい。

柴山こども家庭支援課長：保健師が中心となってあたっています。

加納議員：保健師さんに聞きますが、お子さん、お母さんと面談して、子供の特性とか、そういった判断をするということでのいいのか。

内山こども家庭支援課担当係長：個別の心理相談の中では、保健師が家庭

	<p>訪問を行い、問題がありそうかどうかを把握したうえで、臨床心理士が検査を行い、療育センターにつなぐべきかどうかということを判断しています。</p>
備 考	